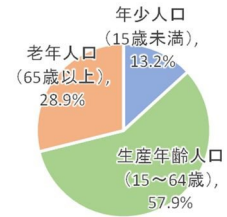
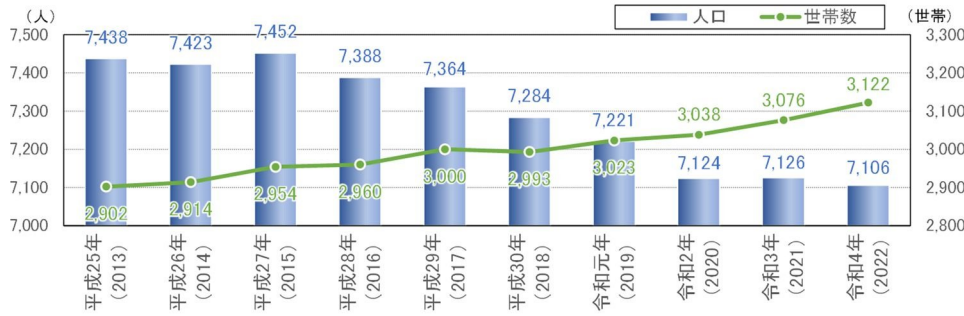


III

福崎小学校区

しんまち うまだ やまさき えきまえ ふくだ こだに にしたに さいじ たかはし
 新町、馬田、山崎、駅前、福田、神谷、西谷、西治、高橋

| | | | | | |
|-----|----------|-------|--------------|-----------------|--------------|
| 世帯数 | 3,122 世帯 | 年齢別人口 | 15歳未満 (年少人口) | 15~64歳 (生産年齢人口) | 65歳以上 (老年人口) |
| 人口 | 7,106 人 | | 749 人 | 3,281 人 | 1,638 人 |



自然

- ・北西には山が広がり、山裾から南東を流れる市川へと緩やかに下る地形となっています。
- ・北の山崎区と市川町坂戸の境には神前山 (標高 333m)、西の西谷区と姫路市香寺町久畑の境には大倉山 (標高 385m) があり、その間を七種山を源とする七種川が流れて市川へと合流しています。
- ・西治から西谷には、山崎断層帯に沿って東西方向の谷筋が通り、姫路市へとつながっています。

歴史文化

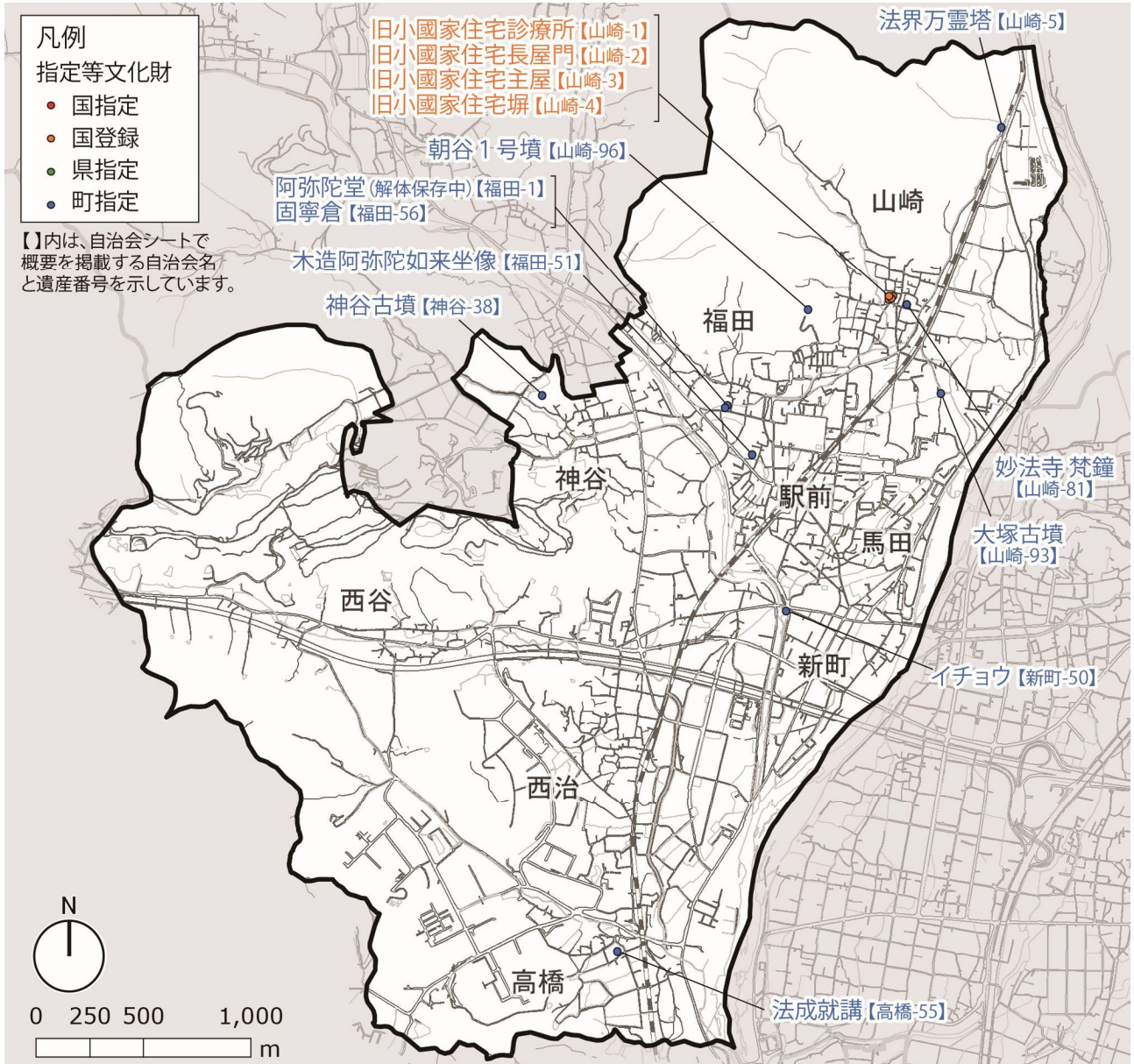
- ・『播磨国風土記』の神前郡条の冒頭には、伊和大神の子建石敷命が、山使村の神前山に鎮座したことから、神前郡と名付けたことが記されています。二之宮神社の裏山には、「磐座」とされる大きな岩があり、建石敷命はここに降り立ったと伝わっています。
- ・古墳時代には、北西の山々の山裾や尾根上に多くの古墳が築造されました。代表的なものには、鉄剣が出土したと伝わる高橋古墳群 (高橋区)、全長 12.3m の巨大な横穴式石室をもつ大塚古墳 (山崎区)、墳丘や前長 8.4m の石室がほぼ完存する朝谷 1 号墳などがあげられます。
- ・矢口遺跡 (神谷区) からは、官人の身分を示す金銅製の帯金具や掘立柱建物の遺構が見つかっています。また、福田区には、近世に姫路藩が整備を進めた固寧倉が現存し、解体修理の際、地下から表に格子縞模様、裏に布目のある奈良時代の古瓦片が多数見つかったことから、古代には、官衙の一部が草庵のような小さな寺院があったと考えられています。
- ・明治 27 年 (1894)、播但鉄道が開通して福崎駅が設置されると、福崎駅前には多くの商工業者が移住して町場が形成され、郡内でも中心的な商業地として栄えました。そして、この人口の増加を背景に、大正 14 年 (1925)、福崎村に町制が施行されて福崎町となりました。
- ・大阪陸軍航空補給廠 姫路出張所が置かれ、「高橋の弾薬庫」と呼ばれました。戦後の昭和 21 年 (1946)、占領軍の手による高橋の弾薬庫保管品の処理作業中に爆発が起こり、ポール中尉ら米兵 3 名と作業中の地元住民 7 名が亡くなるという悲惨な事故が起こりました。
- ・昭和 30 年 (1955) 頃から始まる高度経済成長のなかで工場誘致が進められ、西治・高橋には福崎工業団地が整備されてきました。
- ・秋祭りでは、福崎・高岡の屋台 13 台が二之宮神社に集まります。山崎の木方による合図で一斉に屋台が動きだし、練り合わせを行う「13 台サラバ練り」は見どころとなっています。

指定等文化財の件数

| 分類 | 国 | | | | 県 | | 町 | 総数 |
|--------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 指定 | 選定 | 登録 | 選択 | 指定 | 登録 | 指定 | |
| 建造物 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 6 |
| 美術工芸品 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 無形文化財 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 有形の民俗文化財 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 無形の民俗文化財 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 遺跡 (史跡) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 |
| 名勝地 (名勝) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 動物・植物・地質鉱物 (天然記念物) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 文化的景観 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 伝統的建造物群 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 10 | 14 |

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和 4 年 5 月末時点、10 年間の人口・世帯数の推移は各年 5 月末時点、いずれも住民基本台帳による(外国人を除く)。

指定等文化財の分布



小学校の変遷

| | |
|---------|--|
| 明治5年 | 重習・簡練・合翠・弘明・承明・集成の6小学校を設置（その後、承明は分離して、承明・修徳となる） |
| 8年 | 重習・簡練・合翠の3校を合併して練習小学校を設置、弘明を日進小学校（高岡村）に合併、集成・修徳を承明小学校に合併 |
| 20年 | 練習小学校は練習簡易小学校、承明小学校は明德簡易小学校に改称 |
| 23年7月 | 2校を合併して、王成尋常小学校となる |
| 25年8月 | 福崎尋常小学校に改称 |
| 37年 | 高等科を置き、福崎尋常高等小学校に改称 |
| 昭和16年4月 | 福崎国民学校に改称 |
| 22年4月 | 福崎小学校に改称 |
| 31年5月 | 町村合併により、福崎町立福崎小学校となる |

福崎小学校 校歌

作詞：阪本勝、作曲：小森光代

校歌

- | | |
|---|--|
| <p>1 はりまひろいな 大きいな 山はみどりに 野はゆたかな なぐさの山の 春秋に ともに育った はりまっ子 みんな 歌おう 声いっぱい みんな 学ぼう 胸はって ああ ふるさとのわが母校 母校 福崎小学校</p> | <p>2 清き流れの 市川を はるかにのぞむ 大いちょう 希望と夢を 胸にして ともに育った はりまっ子 みんな 歌おう 声いっぱい みんな 学ぼう 胸はって ああ ふるさとのわが母校 母校 福崎小学校</p> |
|---|--|